

令和7年8月27日

＜セアカゴケグモによる健康被害に関すること＞

北九州市 保健福祉局 保健衛生課

担当:石井・石坂

電話:093-582-2435

＜発見施設に関すること＞

北九州市 子ども家庭局 こども施設企画課

担当:花田・吉田

電話:093-582-2412

報道機関各位

セアカゴケグモによる咬傷事故の発生について

北九州市内においてセアカゴケグモによる咬傷事故が発生しましたのでお知らせします。詳細については以下のとおりです。

1 探知

令和7年8月26日(火)10時40分頃、戸畑区の保育施設から保健所西部生活衛生課に「8月25日(月)17時頃、園内で幼児1名がセアカゴケグモに咬まれた可能性がある」との届出があった。

2 事故発生状況

- ・8月25日(月)の午前、園児が園庭にある段差プレートの上にセアカゴケグモ(メス)1匹を発見し、当該保育施設で共用している虫かごに入れ、下駄箱の上に置いた。
- ・同日17時頃、子供の迎えのため保護者と一緒に来園した幼児(4歳男児 ※当該保育施設に通う園児ではない)が、下駄箱の上に置かれていた当該虫かごに手を入れ、右手中指先を咬まれた。

3 患者の状況

- ・セアカゴケグモに咬まれた幼児1名(4歳男児)は、右手中指先に軽度の痛みを呈した。
- ・翌日の8月26日(火)11時頃、症状は軽快していたが、医療機関を受診した。客観的な所見はなく、現在も症状は出ていない。

4 事故発生現場における対応

8月26日(火)13時30分頃、保健所西部生活衛生課の職員が発見場所の周辺調査を行い、園庭のベンチ裏及び側溝で新たにセアカゴケグモ(メス)1匹及び幼体2匹を発見したため、直ちに駆除を行った。

園児が発見したクモと合わせて合計4匹のセアカゴケグモ(メス2匹、幼体2匹)を確認した。

5 原因の特定

当該虫かごの中にはセアカゴケグモ以外の虫は入っておらず、咬傷時の虫体が特定できたことから、セアカゴケグモが原因であると断定した。

6 今後の対応

園内の点検を強化するとともに、園児及び保護者への注意喚起を行い、新たに発見された場合は駆除し、速やかに保健所へ報告する。

《参考情報 市内での発見状況》

(令和7年8月27日現在)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数	5	2	10	6	5	7	5	11	8	26	32	90	50※

(※本件を含む)

《市民の皆様への注意喚起について》

- * 発見した場合は、絶対に触らないでください。
- * 家庭用殺虫剤を吹きかけるか、踏み潰してください。
- * もし咬まれた場合は、咬まれた部分を温水やせっけん水で洗い流し、できるだけ早くお近くの医療機関を受診してください。
- * セアカゴケグモは日当たりの良い暖かい場所を好み、自動販売機の下や遊具・ベンチの裏、プランター等の人工物に巣を作ります。
- * 屋外で作業をする際は、必ず軍手など厚手の手袋を着用してください。

《今回発見されたセアカゴケグモ》

1. 園児が発見・捕獲したセアカゴケグモ



2. 保健所の現地調査で新たに発見したセアカゴケグモ

